

中学生海外研修2026

2026.8.7～8.9

Vol.1



オーストラリア直送レポート

ドリップストーン校グループ

教育委員会社会教育課 栗栖 / 吉備中学校 平野

ドライバー・ローズベリー校グループ

教育委員会社会教育課 高垣 / 御霊小学校 生駒

予想外の長旅も乗り越えて、いよいよホストファミリーのもとへ！

8月7日（金）、いよいよ有田川町中学生海外研修がスタートしました。

午後6時30分、吉備庁舎を出発する生徒たちを、家族や学校の先生、地域の皆さんが見送ってくださいました。バスに乗り込む生徒たちは、それぞれ家族に笑顔で「行ってきます！」、地域の皆さんからは音楽や激励の横断幕も用意され、出発するバスの車内也大いに盛り上がりました。温かい見送りを受け、30名の生徒たちは元気にオーストラリアへ向かいました。



関西空港で、さっそく「挑戦！」

出発前に生徒たちへ一つのミッションが与えられました。それは、「外国人に英語で質問してみよう！」というもの。名前や出身地などから始まり様々な内容を聞き取ります。実際に外国人に声をかけるとなると、なかなか勇気が必要です。最初は躊躇する生徒もいましたが、自分から積極的に声をかけて質問する生徒も多く、その姿には引率者も感心しました。

これから始まる11日間の海外研修。「英語を話す」ということだけでなく、自分から一歩踏み出してみることが、すでに始まっていました。

予定外の長旅がスタート

ところが、今回の研修は出発直前から思わぬ展開となりました。出発前に関西空港を22時に出発する予定だった飛行機が遅延し、実際の出発は8月8日の午前0時頃になることに。さらに、ブリスベンからは、予定していたダーウィン行きの航空機に乗ることができな



いことが判明しました。この変更については、出発前の段階で生徒たちと保護者の皆さんにも説明しましたが、生徒たちは意外にも落ち着いた様子。大きく動揺することもなく、冷静に状況を受け止めていました。

ブリスベンからシドニーへ、約 1,000km !

そして、ダーウィンに 8 月 9 日（日）中に着くため、ブリスベン到着後、約 1,000km に及ぶ長距離バス移動が始まります。

8 月 8 日の朝 8 時頃、ブリスベンに航空機が到着。生徒たちのオーストラリアの第一印象は、「思っていたより涼しい！」。事前に「ダーウィンは暖かい」と伝えていたこともあり、同じオーストラリアでも地域によって気温が大きく異なることを、身をもって感じるようになりました。午後 3 時、ブリスベンを出発し、シドニーへ向かうバスに乗り込みました。約 1,000km という長い道のり。途中、約 3 時間おきほどにコンビニやマクドナルドなどで休憩を取りながら進みます。車窓には、日本ではなかなか見ることのできない広大な景色が広がり、牛が放牧されている場所も。生徒たちは友達同士で話をしたり、景色を眺めたりしながら、長いバスの旅を過ごしました。

一方、ブリスベンやシドニーなどオーストラリア東部は、想像以上に冷え込みました。「ダーウィンは暖かい」と聞いていた生徒たちにとって、毛布にくるまって寒さをしのぐほどの気温です。広大な国土を持つオーストラリアでは、同じ国の中でも気候が大きく違う。今回の予想外の移動は、そんなオーストラリアの大きさを実感する機会にもなりました。朝方のシドニーでは、オペラハウスの近くも通りましたが、残念ながら暗くてその姿を見ることはできませんでした。それでも、長い移動を終えた生徒たちは疲れこそ見られたものの、思った以上に元気も残っている様子でした。



「楽しむ！挑戦する！無理をしない！」

シドニー空港に到着し、いよいよダーウィンへ向かう準備です。大きな遅れが生じた今回の旅でしたが、その後の移動は順調に進み、8 月 9 日朝、（予定変更後の）予定どおりシドニーからダーウィンへ向かう航空機に搭乗しました。

ダーウィンへ向かう直前、バスの中で生徒たちにホームステイについて最後の心構えを伝えました。「楽しむ！挑戦する！無理をしない！」

これから始まるのは、いよいよホストファミリーとの生活です。楽しい気持ちと、少しの不安。そんな気持ちが入り混じっているような生徒たちの表情からは、「どんな家族なんだろう」「どんな生活になるんだろう」という期待が感じられました。

いよいよホストファミリーと対面！

8月9日（日）、現地時間12時30分頃、ダーウィン空港に到着しました。空港では、それぞれのホストファミリーが名前を書いた紙を持って、生徒たちを待っていました。エスカレーターを降りていく生徒たちの目に、下で手を振りながら待っているホストファミリーの姿が入ります。初めは緊張した表情を見せていた生徒たちも、ホストファミリーの笑顔を見ると少しずつ表情が和らいでいきました。

「これからどんな生活が始まるんだろう」という期待と不安を胸に、ペアが次々と、それぞれのホストファミリーと一緒に空港を後にしました。

これからは、学校での交流やホームステイを通して、オーストラリアの生活や文化を実際に体験していきます。

ダーウィンは乾期の晴天。強い日差しが照りつけていますが、日本と比べると湿度が低く、暑さの中にも過ごしやすさを感じます。日本を出発してから、飛行機の遅延、乗り継ぎの変更、約1,000kmのバス移動など、予想外の出来事が続いた今回の研修。しかし、生徒たちはその一つ一つを乗り越え、ついにダーウィンでの新しい生活をスタートさせました。

ここから始まる11日間。たくさんのことを楽しみ、挑戦し、時には無理をせず、一人ひとりにとって忘れられない海外研修にしてほしいと思います。